

「 つながり、そして、やりがいをつくる大会に! 」



第 34 回中国地区国語教育研究大会山口大会

実行委員長 河辺 哲也

中国地区国語教育研究大会は、中国各県が持ち回り、10年に一度開催されます。

私は、この「10年に一度やってくる開催年」をどう受け止めるか、大きな分かれ道のように考えています。「先生方に負担をかけて大変だ。準備も面倒だ。」ととらえるか、「県を挙げて、国語教育について取り組む絶好のチャンスだ。」ととらえるか。その捉え方で、国語科教員の関わり方や授業づくりが大きく変わるように思うのです。私たちは、後者の立場にたって、この大会の準備を進めてきました。

大会当日を有意義ものにすることは大切です。しかし、それ以上に、大会に至るまで、山口県全体で研究に取り組み、国語人のつながりを深めたり、国語教師としてのやりがいを実感したりすることが、大会を行う大きな意味ではないか、と思うのです。

山口県は、小・中・高の国語科に関わる教員が一緒になって「深い学び」について悩み、考えた成果を、授業や研究発表で提案したいと思います。

みなさまのお越しを、国語科部員一同、お待ちしております。